

【平成28年度 第1回提出】業務棚卸評価シート

1 事業の概要と実績

No.	15			シート作成者	-	-	
事務事業名	放置自転車対策事業	事務区分	自治事務	部課かい名	市民安全部 安全対策課		
事業の目的	安全で良好な歩行空間を確保し、交通の円滑化を図るとともに、安全で快適な市民生活の実現を目指す。	事業の目標		交通の円滑化を図るとともに、駅前広場を中心とした茅ヶ崎駅周辺の美観の向上と非常時における緊急活動の円滑化を図る。			
事業の概要	啓発員による啓発活動を強化する。 自転車駐車場の利用を誘導する。 移動保管料を徴収する。						
対象	市民及び駅周辺に自転車で来訪する人々		事業の性質区分	定例・定型		業務計画	■
指標	放置自転車の削減						
27年度(第2次実施計画)		28年度(第3次実施計画)		29年度(第3次実施計画)		30年度(第3次実施計画)	
目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
2,500台	1,710台	2,250台		2,000台		1,750台	
		27年度	28年度	29年度	30年度	※金額については1円単位で記入してください	
事業費	実施計画事業費	-	45,625,000	38,718,000	34,590,000		
	予算額	46,860,000	45,625,000				
	決算額	44,248,032					
	執行率	94.4%					
	従事者数	0.52	0.46				
	職員	0.49	0.43				
	臨時・非常勤等	0.03	0.03				
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他	1,870,968	1,698,000				
	一般財源	42,377,064	43,927,000				

2 事業実施状況に対する評価

事業の必要性	
<p>安全で良好な歩行空間を確保するため、駅周辺の放置自転車対策のための条例を制定し、監視員による指導・啓発及び自転車の撤去・整理を行っている。引き続き安全で快適な市民生活を確保するためには、対策を継続することが必要である。</p>	
事業実施状況に対する分析(課題の抽出)	
事業成果	放置自転車等については、監視員による指導・啓発等により、撤去台数が平成22年度の4,925台から平成27年度の1,710台へと着実に減少している。
事務効率	啓発員の適材適所の配置により、少ない人数で効果を上げることができている。 さらに対策を講じることで、回収台数を減らし、その後の返還、廃棄処分、リサイクル、啓発に係る業務及び費用を軽減できる可能性がある。また、回収による苦情も多いが、回収台数を減らすことにより、苦情対応に費やす時間も減らすことができる可能性がある。
事業成果及び事務効率に対する評価	
実施手法は効率的かつ効果的であり、成果があがった	

3 今後の事業展開(事務改善)

今後の事業展開(事務改善)	
改善の方向性	27年度の評価を踏まえた28年度以降の取組内容
事業(活動)の効率を上げる	駅周辺の放置自転車の即日撤去を行う場所を増やすことにより市民及び駅周辺に自転車で来訪する人々の意識を高め、放置自転車の台数をさらに減少させ、回収台数を減らすことにつなげる。 具体的には、28年度において、茅ヶ崎駅南口駅周辺の放置自転車の即日撤去を行う。その効果や課題を分析し、状況をみながら他の区域への拡大も視野に入れた本格化を検討していく。

4 事業を構成する活動に係る改善内容

[illegible][illegible][illegible][illegible]

【平成28年度 第1回提出】業務棚卸評価シート

1 事業の概要と実績

No.	20			シート作成者		-		-	
事務事業名	防犯灯LED化による防犯対策事業			事務区分	自治事務		部課かい名	市民安全部 安全対策課	
事業の目的	LED化により維持管理経費及びCO2排出量の削減を図り、地球にやさしいまちづくりの実現を目指す。			事業の目標	既存蛍光管防犯灯のLED化及び管理				
事業の概要	既存20W蛍光管防犯灯をLED防犯灯へ取り替える。								
対象	市民			事業の性質区分	政策		業務計画	■	
指標	LED防犯灯の取り替え灯数(第2次実施計画) LED防犯灯の維持管理灯数(第3次実施計画)								
27年度(第2次実施計画)		28年度(第3次実施計画)		29年度(第3次実施計画)		30年度(第3次実施計画)			
目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
500灯	544灯 (14,345灯)	14,300灯		14,400灯		14,500灯			
		27年度	28年度	29年度	30年度	※金額については1円単位で記入してください			
事業費	実施計画事業費	—	5,442,000	32,647,000	32,647,000				
	予算額	9,990,000	5,442,000						
	決算額	9,987,840							
	執行率	99.98%							
	従事者数	0.26	0.63						
財源内訳	職員	0.26	0.63						
	臨時・非常勤等								
	国庫支出金								
	県支出金								
	地方債								
	その他								
一般財源	9,987,840	5,442,000							

2 事業実施状況に対する評価

事業の必要性	
<p>防犯灯については、夜間における犯罪防止と交通安全を確保するために、現在、市内には14,345灯が設置されている。そのうち5,353灯はLED化をしているが、8,992灯については蛍光灯型防犯灯となっているため、維持管理経費(電気料、修繕料等)及び二酸化炭素排出量の削減を図るためには、防犯灯のLED化を進める必要がある。</p>	
事業実施状況に対する分析(課題の抽出)	
事業成果	<p>経費面では、1灯あたりの電気料金は蛍光灯型防犯灯と比べて約50%の削減ができる。また、LED光源が既存の光源より長寿命であるため10年以上球替えの必要性がなく、球替えに要する費用の削減ができる。これまでのLED化により、年間で約531万円の電気料金が削減できている。環境面では、二酸化炭素の排出量が1灯あたり約61%削減できる。これまでのLED化により、年間で約81万トンが削減できている。しかし、市内の全灯をLED化するには、これまでのペースだと15年以上かかることになるが、早期にLED化を進めることで経費面及び環境面のメリットが早くから得られることとなる。</p>
事務効率	<p>9,000灯以上ある蛍光灯型防犯灯の中から単位自治会ごとのLED化率等を勘案しながら約500灯を選定することや、防犯灯協力会に加入する市内33の電気工事店への交換に係る費用の支払いなどの業務が負担となっている。</p>
<div style="text-align: center;">↓</div>	
事業成果及び事務効率に対する評価	
<p>成果があがっているが、実施手法は効率的でない</p>	

3 今後の事業展開(事務改善)

今後の事業展開(事務改善)	
改善の方向性	27年度の評価を踏まえた28年度以降の取組内容
事業(活動)の効率・成果を高める	<p>ESCO(Energy Service COmpany)事業を活用し、事業者により平成28年度中に一斉にLED防犯灯への交換を行うとともに、10年間の維持管理業務等を行うことにより、これまで以上に維持管理経費及び二酸化炭素の排出量の削減を図る。また、ESCO事業を活用することにより、LED化をする防犯灯の選定業務や交換に係る個別の支払い業務がなくなるとともに、事業No.3の防犯灯の修繕管理及び新設に係る事務が大幅に軽減される。あわせて、現在、地図(紙ベース)で管理している台帳を同事業の中でシステム化し、事務効率を高める。</p>

4 事業を構成する活動に係る改善内容

[illegible][illegible][illegible][illegible]